

プラスチックごみ 対策シンポジウム

プラスチック
ごみ

PLASTIC TRASH

ゼロ

に向けて

令和元年 **10月31日(木)** 13:30~16:00

大阪歴史博物館 講堂

大阪市中央区大手前 4-1-32

対 象 府民、事業者、行政等（定員：200名）

参加費 無料（事前申込制）申込方法は裏面参照

プログラム

● 基調講演

プラスチックごみ問題と今後の課題
ー減らす努力と断る勇気ー

講師：同志社大学名誉教授

郡 崙 孝 氏

休 憩

● 大阪府の取組紹介

● パネルディスカッション

事業者、NPO、行政等の取組と
今後の展望について

👤 コーディネーター

● 郡 崙 孝 氏

👤 パネリスト

● NPO法人 水DO! ネットワーク事務局長
瀬口 亮子 氏

● 象印マホービン株式会社広報部
山田 周平 氏

● 株式会社セブンイレブンジャパン
サステナビリティ推進室総括マネジャー兼環境部会長
西山 純生 氏

● 環境省近畿地方環境事務所 資源循環課長
山根 正慎 氏

● 大阪市環境局家庭ごみ減量課 課長代理
藤堂 秀和 氏



プラスチックは、安価で使いやすいことから、私たちの生活でも急速に普及しましたが、不用意に捨てられたプラスチックごみが、川などを通じて海へ流れ込み、海洋生物等に深刻な影響を与えるなど、地球規模の海洋汚染となっています。

このため、大阪府では、大阪市とともに、本年1月に「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、使い捨てプラスチックの削減やさらなる3R(リデュース、リユース、リサイクル)、紙等へのプラスチック代替、海洋プラスチックごみ問題の普及啓発などに取り組むこととしました。

本シンポジウムでは、国内外のプラスチックごみの3Rの取組を紹介するとともに、使い捨てプラスチックの削減・リサイクルや代替に先進的に取り組む国内企業、NPO、行政の対策事例をもとに、府民、事業者、NPO、行政等がそれぞれ実施できる取組について、一緒に考えていきます。

リデュース



リユース

リサイクル



講師紹介

同志社大学名誉教授
郡 嶋 孝 氏

1947年福岡生まれ。同志社大学大学院経済学研究科博士課程修了。環境省 廃棄物・リサイクル小委員会容器包装リサイクルワーキンググループ座長、京都府環境審議会委員等歴任。地球環境問題について経済学の視点から研究する第一人者。



大阪歴史博物館 講堂

大阪市中央区大手前 4丁目 1-32 TEL:06-6946-5728

アクセス

Osaka Metro 谷町線・中央線「谷町四丁目駅」2号・9号出口
大阪シティバス「馬場町」バス停前

申込方法

WEB、メール、FAX にて
下記 ①～④ をお知らせください。

先着順

定員を超え参加できない場合は事務局よりご連絡いたします。なお、障がい等がある方で、参加にあたり配慮をご希望される方は事前にご相談ください。

① お名前		フリガナ	② 参加人数	人
③ ご所属				
④ 連絡先	電話：			
	FAX：			
	メールアドレス：			

ご記入いただいた個人情報、本シンポジウムの運営等に関する目的に限り利用し、厳重に管理します。また、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供しません。

WEB

<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukild=2019090067>



メール

plastic@e-being.jp

FAX

06-6614-1801